

梨農家さんありがとう

千葉県市川市立平田小学校 五年 高橋 紅里

市川市は梨の産地です。市川市で生まれ育ったおじいちゃんは毎年、梨の直売所に行つて、市川産の梨をお友達に送っています。わたしが長野県に住んでいた時は、わたしにも送ってくれました。とてもおいしいので、わたしは市川産の梨が大好きです。市川市の小学校に入学してからは、スーパ―で見かけたり、地域の特産として学んだりして、ますます身近になりました。そして今年、初めて梨の直売所に行きました。

直売所にはおじいちゃんと家族で行きました。直売所の隣には梨園がありました。直売所がお客さんと混んでいたの、梨園を見せてもらいました。梨園は全体を網で囲っており、鳥よけかなと思いました。また梨の木は枝を低くしてあり、大人はかみながら歩かなければならず、梨の世話は大変だとも思いました。収穫した後なので、枝に実はなく、地面に黒くなった梨がいっぱい置いてありました。この黒くなった梨は傷があつたり、小さかつたりした梨です。今年の夏はとても暑かつたので、うまく育たない梨が多かつたそうです。今年だけが特別に暑いならまだ良いけれど、年々暑くなるので、梨農家仲間で困つたなあと話しているとも聞きました。

直売所にもどると、たくさんあつた梨がかなり減つていて、売り切れの品種もありました。わたしは一番好きな「かおり」を買ってもらいましたが、もらったチラシに新しい品種が紹介されていたので、そつちも欲しかつたです。

梨を作るにはたくさんさんの工程が必要だと授業で習いました。実際に梨園を見て、話しを聞き、自然を相手に大変な作業だと実感しました。さらに新しい品種の開発もして、どの梨も開花から収穫までの一年間だけでなく、長い年月にわたる梨農家さんの努力があることに気づきました。おいしい梨を作ってくれて、梨農家さんにありがとうと伝えたいです。